

ひょうご農地・水ニュース



ひょうごの農業農村 写真コンテスト
佳作「豊作を願う」（撮影地：丹波篠山市波々伯部神社）

農地や水路、ため池等の農業用施設、さらには美しい景観、豊かな生きもの、きれいな水を守り育てる地域ぐるみの活動が県下各地で行われています。

新型コロナウイルス感染拡大による影響のため、今年度も例年通りの活動ができていない組織もあるかと思えます。活動参加者の健康確認を実施したり、密にならないなどの工夫をしながら進めていきましょう。

今号では、昨年に引き続き開催された「草刈りフィールド・ラボ」や、抽出検査の確認事項、営農展開についてのアンケート結果の報告を中心に話題を提供します。

●●●● CONTENTS ●●●●

- P.2 草刈りフィールド・ラボ
- P.3 抽出検査のご協力をお願い
- P.4～5 営農展開のアンケート結果について
- P.6 共同活動中における安全管理について
- P.7 令和3年度制度改正の留意点 / 活動組織掲載のおしらせ / 事務支援システムの紹介
- P.8 フォーラム・研修会・協議会HPのお知らせ / 編集後記

兵庫県多面的機能発揮推進協議会
ホームページ



<https://hyogo-nouchimizu.com/>

監修：兵庫県農政環境部農林水産局農地整備課
発行：兵庫県多面的機能発揮推進協議会
兵庫県土地改良事業団体連合会

草刈りフィールド・ラボ

現地研修会・安全講習会

草刈りの最新技術を
見て、聞いて、
体験できる展示ほ場



昨年より引き続き「草刈り」について、現地で見えて、聞いて、体験できる展示ほ場を佐用町に設置（草刈りフィールド・ラボ）し、その一環として現地研修会を開催しました。

最新のリモコン式草刈機をはじめ、トラクター装着式など様々な省力化技術の実践を通じて「草刈り」の負担軽減に取り組んでいきます。



安全講習会



トラクター装着式の実演



リモコン式の実演



自走式の実演

昨年に引き続き、令和3年7月6日、JA全農兵庫と草刈機メーカー6社、佐用町や佐用町水士里会の協力を得て、現地研修会を開催しました。昨年の盛況もあり、西播磨地域のみでの募集から県下の活動組織に拡大の上、午前・午後の2部制で、約200名が参加し、盛大に開催しました。

研修はまず始めに、刈払い機と自走式草刈機の安全講習があり、服装や刈払い機の始業点検、トラブル発生時の緊急離脱装置の使い方、作業時の留意点についての説明が行われました。

続いて自走式・トラクター装着式・リモコン式の説明が実演を交えながら行われました。

来年度も引き続き現地研修会を予定しております。
開催の折には皆様にご案内を差し上げますので、
その際には是非お早めのお申し込みをお願いいたします。

YouTubeでもご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=bJSod011ALs>



兵庫県多面的機能発揮推進協議会ホームページにて、当研修会の内容を繰り返しご覧になる事が出来ます。

⇒ <https://hyogo-nouchimizu.com/information/>



HP「お役立ち情報」
をチェック！

多面的機能発揮推進協議会の抽出検査に関するご協力のお願い

毎年、近畿農政局が県内の組織を対象に抽出し、報告書類等が適切に作成されているか検査を行っており、令和2年度からは多面的機能発揮推進協議会も同内容の検査を実施しています。

この抽出検査は、書類の適切な作成指導を通じて、組織の事務能力向上を目的に行っています。今年度は検査対象を10市町（前年度7市町）の組織に増やし、「円滑な組織運営」をテーマに実施中です。対象となる組織の方には準備や検査立会等でご足労をおかけしますが、ご協力の程よろしくお願いいたします。

またこの検査では、日頃の活動の疑問点について市町や協議会と直接意見交換できる場となっておりますので、是非ご活用ください！

よくある指摘事項

できているか確認しましょう！

【総会】

- ・総会に出席できない場合は、必ず委任状を提出してもらうこと
- ・欠席者には後日、総会での決定事項を書面で周知すること

【実施状況報告書】

- ・活動を実施した日は**すべて**備考欄に記載し、記載漏れのないようにすること
- ・実施が「×」の場合、実施しなかった理由を備考欄に記載すること
- ・中山間地域及び地域振興立法8地域に該当する組織は『60. 広報活動』が免除となることに留意すること



抽出検査の様子

【活動記録】

- ・活動計画に挙げられ、実施された活動は**すべて**記載すること（**金銭の支出の発生を問わない**）

【金銭出納簿】

- ・日付欄には**領収日・受領日**を記載すること

【領収書等】

- ・自治会、農会等から活動資金を借り入れた場合は必ず借用書及び領収書をとること
- ・宛名には**活動組織名**を書いてもらうこと（**個人名は×**）
- ・個人でお金を立て替えた場合は、必ず立替分として領収書をもらうこと
- ・**クレジットカード決済やポイントカードの使用**はしないこと

【財産管理台帳】

- ・パソコン、デジカメなど1件当たりの取得価格が50万円未満の物品についても「財産（物品）管理台帳」（任意様式）で管理すること（事務用品、材料等の消耗品は除く）

令和2年度 多面的機能支払交付金活動組織アンケートより 営農展開のアンケート結果について

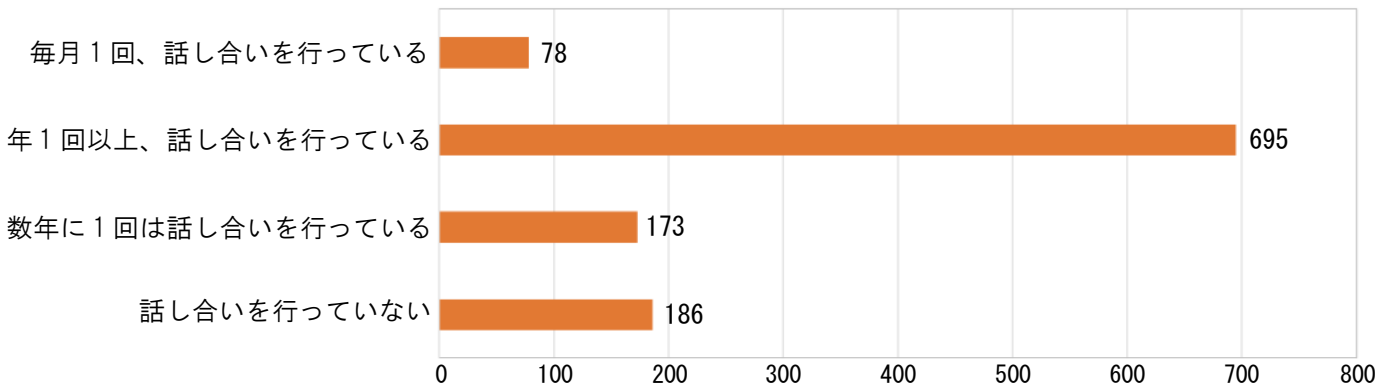


令和2年度末に活動組織を対象にアンケートを実施したところ、1,162組織の方にご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。

ここでは、各活動組織における営農展開についての現状をまとめましたので報告します。

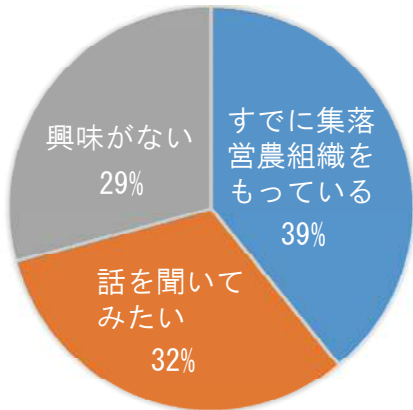
このアンケートは、組織の皆様にご回答いただいた結果を踏まえ、翌年度の推進活動（国への要望、研修会テーマ等）に役立てる大切なものです。今回ご回答いただけなかった組織の皆様も是非、次回のアンケートにご協力をお願いいたします。

1. 今後の活動予定の話し合いについて



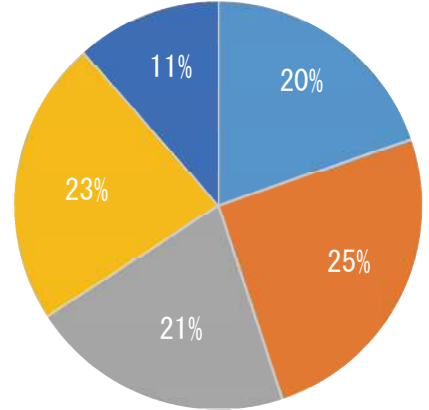
2. 集落営農組織について

<<①集落営農組織への興味>>



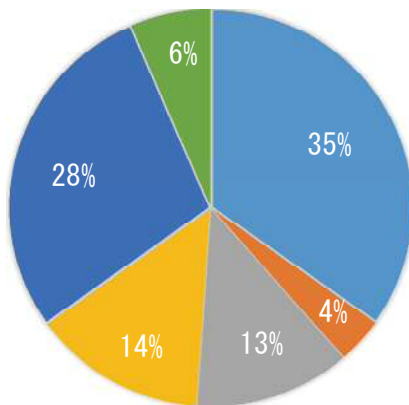
<<②集落営農組織の今後の方針>>

- 農地を安定的に守っていくため、常時従事者を雇用する
- 集落内では規模が小さいため、近隣の集落営農組織と連携を図る
- 女性や非農家の集落活動への参画を図る
- 現状維持でよいと思う
- その他



3. 『人・農地プラン』について

- 既に作成し、市町へ提出済み
- 既に作成したが、更新したい
- 作成する方法が知りたい
- 作成を検討しているので、資料が欲しい
- 今は興味がない
- 「人・農地プラン」を聞いたことがない



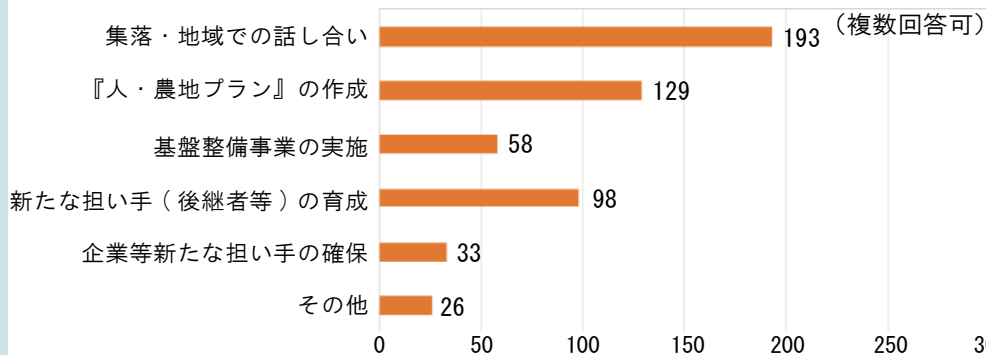
回答を頂いた約8割以上の組織が今後の活動について話し合いを行っています。

そして①より、約7割が集落営農組織への関心があることが分かり、②より、約半数が近隣の営農組織との連携や女性・非農家の参画による営農展開を希望されていることが分かります。

また「人・農地プラン」をすでに作成している組織は約4割、興味がある組織が約3割あり、約7割の組織が「人・農地プラン」に関心があるとの結果が得られました。

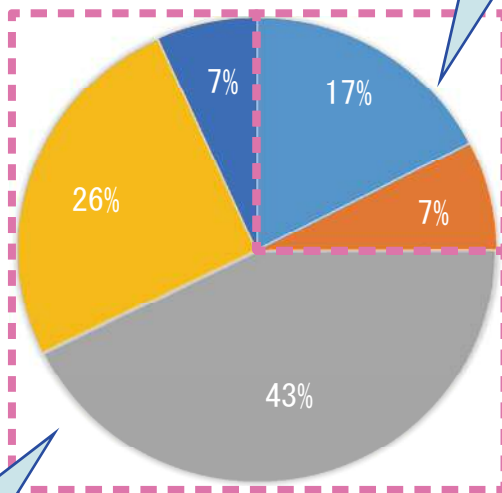


＜＜ 担い手へ集積・集約する為の方法 ＞＞

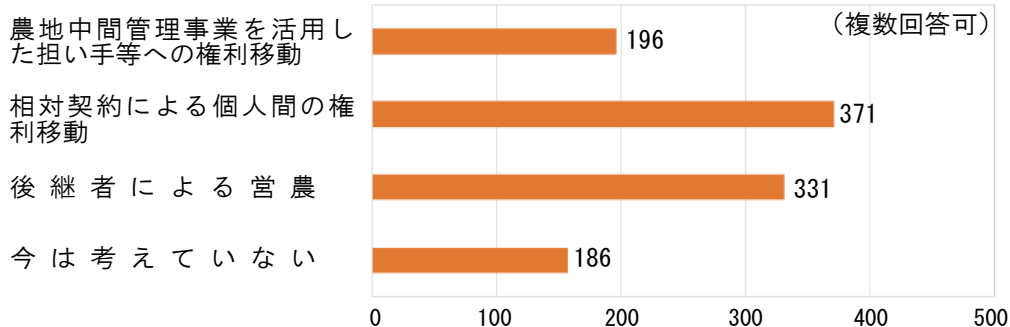


4. 農地中間管理事業について

- 既に活用している
- 活用を検討している
- 興味はあるが、具体的な話は進めていない
- 今は興味がない
- 「農地中間管理事業」を聞いたことがない



＜＜ 農地を守るにはどのような手段が有効か ＞＞



農地中間管理事業については、約7割の活動組織の方々が興味があるようですが、一方で、「農地中間管理事業」に興味がない・聞いたことがないとの回答が約3割程見られました。そのためこれらの組織の方々に興味を示して頂くために、より一層の啓発が必要だと考えられます。

また、＜＜ 担い手へ集積・集約する為の方法 ＞＞の『その他』の代表的な意見として、「農地中間管理事業を活用している組織」は外部組織との協力を、「活用していない組織」は自組織・自集落内で農地を守る為の活動を行っているという意見がうかがえました。しかしどちらの組織でも、担い手の高齢化や地域の過疎化のため、将来への不安の声が見られ、人材育成・地域活性化への取組みが今後の課題となっています。

共同活動中における安全管理について

令和2年度中に多面的機能支払交付金の共同活動中に発生した事故は全国で**116件**と前年度よりも大幅に増加しており、中には死亡事故も発生しています。ここでは共同活動中に発生した事故の概要について取り上げていきます。

1. 共同活動中に発生した事故件数の推移 及び 事故要因

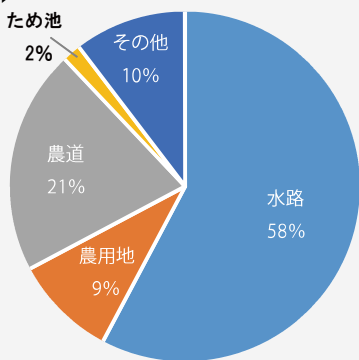
年度	事故発生件数	取組組織数 (参考)
平成26年度	15	24,885
平成27年度	19	28,145
平成28年度	42	29,096
平成29年度	46	28,291
平成30年度	47	28,348
令和元年度	55	26,618
令和2年度	116	—

事故要因	H24 ~ R2	R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24
転倒・転落	138	44	22	21	17	16	9	6	3	0
草刈機等接触	96	33	11	13	18	10	5	3	3	0
倒木	21	4	3	0	4	5	1	4	0	0
車両事故	11	2	0	1	0	4	0	2	1	1
虫刺され	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	76	23	19	12	7	7	4	0	1	2
計	352	116	54	47	46	42	19	15	8	4

2. 事故概要について

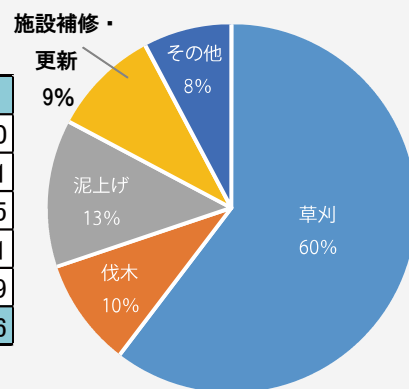
<< 事故発生現場 >>

対象組織	件数
水路	67
農用地	11
農道	24
ため池	2
その他	12
計	116



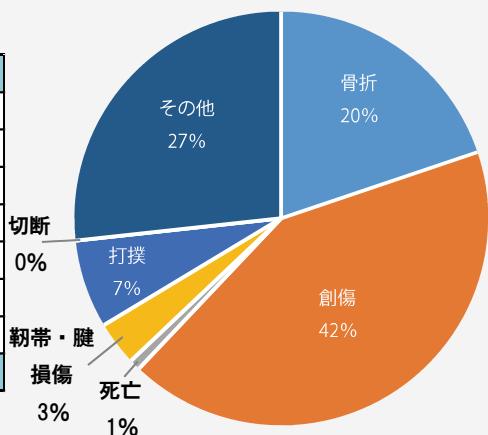
<< 事故発生活動 >>

対象組織	件数
草刈	70
伐木	11
泥上げ	15
施設補修・更新	11
その他	9
計	116



<< 被災状況 >>

対象組織	件数
骨折	23
創傷	49
死亡	1
靭帯・腱損傷	4
打撲	8
切断	0
その他	31
計	116



事故は主に水路・農用地・農道での草刈り時に発生している傾向があります。そして事故要因は転倒・転落が最も多く、次いで草刈り機等接触によるものも多く見られます。こうした事故を未然に防ぐため、服装など事前チェックを怠らないようにしましょう！



作業中の服装や草刈り中の留意点、事故の詳細などをまとめた、『安全のしおり』を添付致しますので是非ご覧ください！



令和3年度 主な制度改正（提出書類に関する変更）の留意点

「提出書類に関する押印」が省略されました

近年における事務の省力化の観点から、多面的機能支払交付金実施要領に定める、市町へ提出する様式について、**押印を省略することが可能になりました。**

※日当の受領印については、活動組織内（例）での合意のもと省略することも可能ですが、サインに代替するなどして、活動に参加した本人が受領したことを確認して下さい。

(様式第1-1号)

市町村 長 殿	令和〇年〇月〇日
	農業者団体等の名称 代表者の氏名

省略可

印

あなたの活動組織の活動をみんなに広げてみませんか？

目的 協議会では各組織が活動内容を他組織と共有することで、自らの活動の励みにするため、ホームページに掲載する活動組織紹介を組織より募集しています。

応募内容 応募する内容は「草刈りをしてきれいな農村風景になった」や「長寿命化の施工を行った」など基礎的な活動でもOKです。

応募方法 兵庫県多面的機能発揮推進協議会ホームページより様式をダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、FAXかメールで送信してください。

その他 更に多面的機能の増進を図る活動の『60. 広報活動』に取り組む場合、協議会のホームページに掲載することで要件を達成することになりますので、ぜひご活用ください。

※詳しくは <https://hyogo-nouchimizu.com/organization/> をご覧ください。



(記入例)

活動紹介 申込書

活動組織名	サンプル活動組織		
所在地 (住所)	〒100-0000 東京都千代田区千代田		
連絡先 (TEL)	活動日付	活動時間	活動内容
03-XXXX-XXXX	2023/10/01	7:00-13:00	水路の草刈り
活動参加者数	実施者数	参加者数	備考
5人	2人	20人	〇〇水路の草刈り

※詳細な記入例は別添付資料を参照してください。

「兵庫県版多面的機能支払事務支援システム」がより使いやすくなりました

活動報告の「開始時間」及び「実施時間」を30分刻みから 10分刻み に入力が可能になりました！

例：2.5時間を2:30に変更

		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
		新規登録		修正	削除		日報出力		写真帳出力		印刷	保存						
		令和3年度 多面的機能支払交付金 活動記録																
																	組名: AAA組織	
No	日付	開始時刻	実施時刻	実施者数	参加者数	参加者数以外	総参加人数	項目番号	支払区分	活動区分	活動内容	備考 (具体的な活動内容を記入)						
1	4/1	7:00	3:00	5人	20人	25人	7	農地維持	水路	7水路の草刈り	〇〇水路の草刈り							
2	4/1	9:00	3:00	5人	20人	25人	10	農地維持	農道	10農道の草刈り	△△農道の草刈り							
3	4/1	13:00	4:00	1人	0人	1人	200	-	事務処理	200事務処理	簿収書の整理							
4	4/2	9:00	4:00	2人	2人	4人	1	農地維持	点検	1点検	〇〇点検							

※事務支援システムの新機能『CSV出力』を行い、水土里情報システムのスマートフォームに取り込みを行うことで、活動組織の図面を簡単に作成できるようになりました。市町の皆さま是非ともご活用ください。

お知らせ

第14回ひょうご水土里のふるさとフォーラム

テーマ「ひろげよう、交流の輪」

とき：
令和3年11月30日（火）
13:30～15:30

ところ：
「神戸新聞松方ホール」

基調講演
「ひろげよう、交流の輪」
合同会社 人・まち・住まい研究所
代表社員
浅見 雅之 氏

今年度は「ひろげよう、交流の輪」をテーマに開催します。

内容としては優良地区表彰や事例発表、基調講演を予定しています。

また、パネル展示も併せて実施する予定です。

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、例年より規模を縮小して開催します。



お知らせ

活動組織研修会の開催



県内活動組織を対象として、皆さまから要望の多かった「後継者やリーダーの育成」と「効率的な鳥獣害対策」をテーマに、県下5会場で開催します。

日時（12月～2月を予定）、開催場所等、詳細が決まり次第、別途郵送にてご案内いたします。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、中止となる場合があります。

お知らせ

協議会ホームページ（HP）について

兵庫県多面的機能発揮推進協議会ホームページにて、最新の多面的機能支払事務支援システムがダウンロードできますので、是非ともご活用ください。

<https://hyogo-nouchimizu.com/download/>



編集後記

近年営農組織や活動組織の広域化など農業組織の新たな形が増えてきています。高齢化が進み、営農活動が困難になっていく中で、このような新たな農業形態での取り組みが皆様の活動継続の一助となれば幸いです。「ひょうご農地・水ニュース」ではこれからも様々な情報を発信していきますので、是非とも日々の活動にご活用ください。